

取替説明書 TOTO

焦電センサー (TES5Bの補修専用品 : THE10R)

商品の機能が十分に発揮されるように、この取替説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	禁止	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。	強制	は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

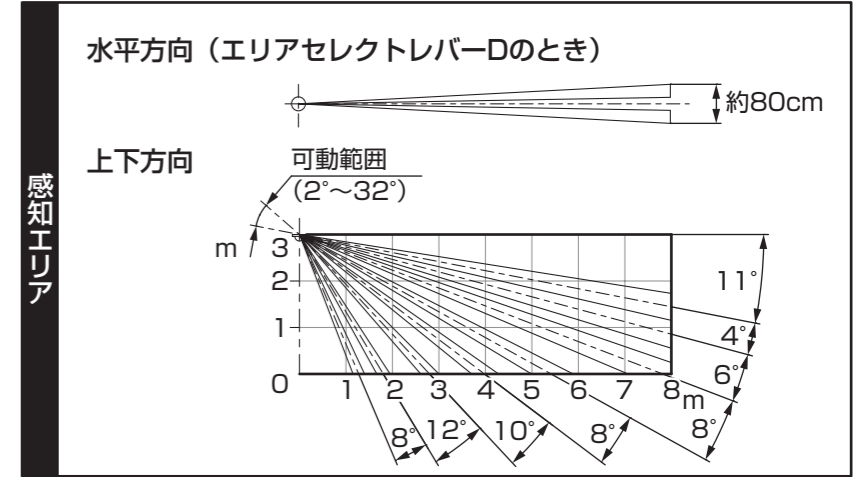
警告	
禁止	小便器節水装置用コントローラー以外に接続しない 火災や感電・故障の原因になります。
禁止	本機は防水(防湿 防雨)・防塵構造ではありません。水のかかる場所や湿気・ほこりの多い環境で使用しない 火災・感電や誤動作・故障の原因になります。
分解禁止	分解したり、修理・改造は絶対に行わない 火災や感電・故障の原因になります。
禁止	濡れた手で端子部に触れない 感電の原因になります。
禁止	次のような異常・故障が発生した場合には直ちに電源供給を中止して、取付店に修理を依頼する 火災や感電・故障の原因になります。 ・煙が出たり、異常な臭いや音ができる ・内部に水などの液体や異物が入った ・変形や破損した部分がある

注意	
禁止	焦電センサーに水をかけない 故障の原因になります。
禁止	強い力や衝撃を与えない 強い衝撃が加わると性能が劣化したり、破損する場合があります。
必ず実行	コンクリートなどに取り付ける場合は、市販のアンカーと取付ねじで確実に取り付ける 取り付けが不安定な場合、落下してけがや器物を破損する原因になります。
必ず実行	センサーロックにてセンサーユニットを確実に固定して設置する 落下によるけがや本機の破損の原因になります。
必ず実行	本機の重量に耐えられないような場所や取付方法をしない 落下してけがや器物を破損する原因になります。
必ず実行	本機は人体より放出される遠赤外線エネルギーを感知し、作動する装置です。感知エリアに強い光(日光、スポットライト)の直射や反射が入る場合や、急激な温度変化のある場合(冷暖房器具の吹き出し口など)は、エリア内に日光や温度変化が起らないようにさえぎる 強い電界や磁界が発生する機器の近くでは正常に動作するか確認する

2 仕様

(単位: mm)

商品寸法	φ150×54 (高さ)
電源電圧	DC12V(極性あり)
消費電流	25mA以下
感知エリア	最長8m
使用温度範囲	-10℃~50℃



3 取り替え前に

1-1 小便器の連立数、使用者の侵入方向、身長などを考えて既設品は取り付いています。

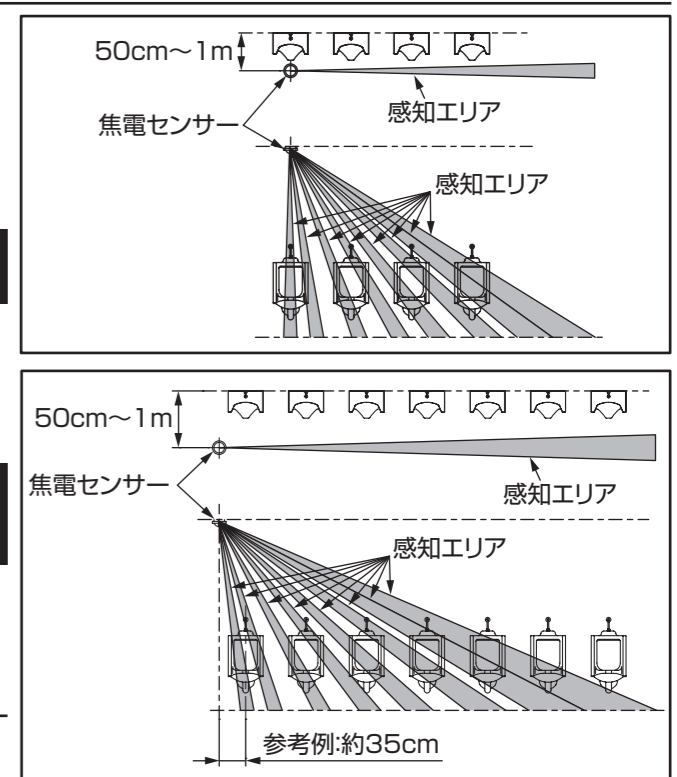
①小便器が4連以下の場合、一番端の真上に設置しています。

新しい焦電センサーも既設と同じ位置に取り付けます。
工場出荷時は、インジケータ：K(感知エリア最短)設定です。
インジケータがKになっているか確認してください。

②小便器が5連以上の場合、一番端の小便器より少しずらして設置しています。

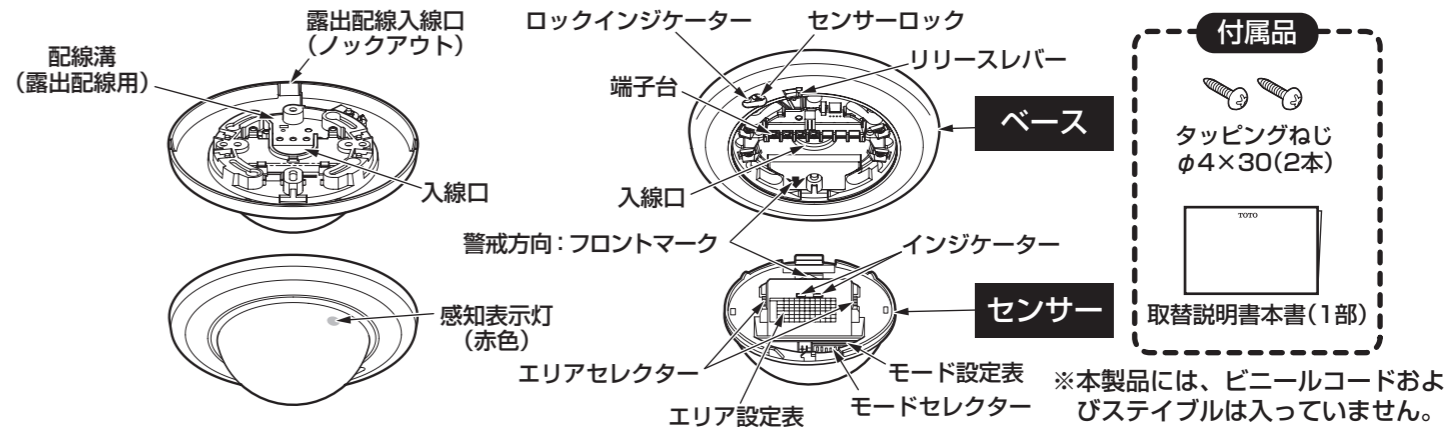
新しい焦電センサーも既設と同じ位置に取り付けます。
工場出荷時は、インジケータ：K(感知エリア最短)設定です。
現場の小便器連立状況にあわせて、7感知エリアの調整を参照し、調整してください。

注意
感知エリアに小便器の洗浄面が入らないように、ベースを水平方向に回転し、調整してください。



1-2 既設の電線は、配線されたまま使用します。

4 各部の名称



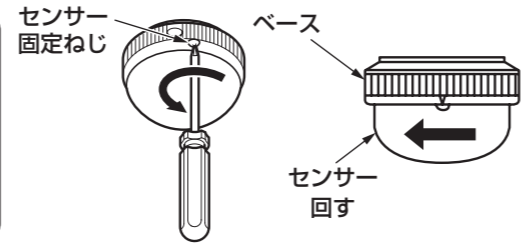
5 取替方法

5.1 元電源を切る

5.2 既設焦電センサーの取り外し

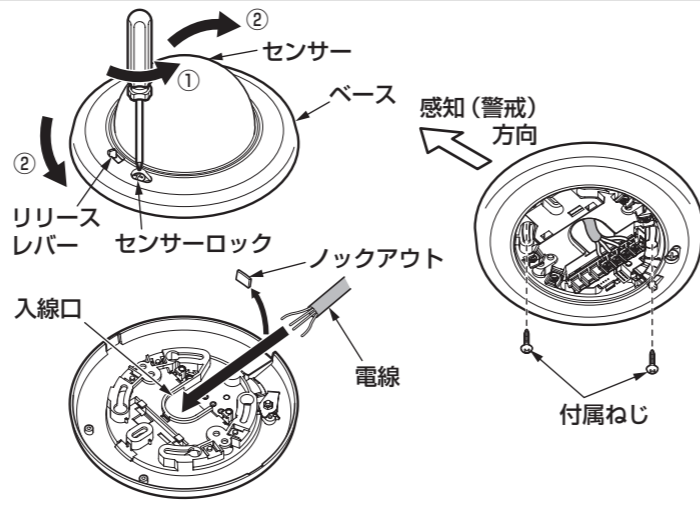
- ①センサー固定ねじをゆるめ、本体を外す。
※本体とベースは左に回すと外れます。
- ②ベースユニットの電線を端子台のねじをゆるめ、外す。
- ③天井に固定している木ねじをゆるめ、ベースを外す。

注意
取り替え後の配線用に端子台近くの各電線に「+12V」「OV」「OUT」の目印を付けておくと、新しい焦電センサーの配線接続時にわかりやすくなります。

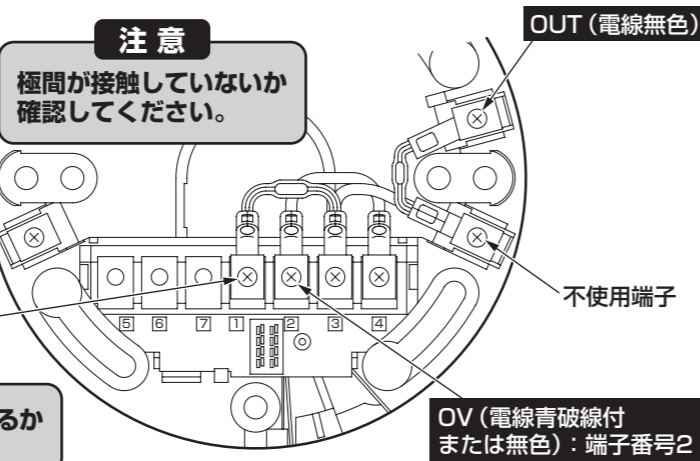


5.3 新しい焦電センサーの取り付け

- ①センサーロックを反時計周りに約30°回してゆるめる。
- ②リリースレバーを矢印の向きにスライドさせ、ベースからセンサーを取り外す。
- ③ベースを設置位置にあてがい、フロントマークを感知方向に向けて付属のねじ(2本)で取り付ける。
注意
既設のねじ穴跡にかからない所に、新しいねじでしっかり固定してください。
- ④埋込配線の場合は、ベース中央の入線口から通す。
※露出配線の場合は、ノックアウトを外し、ベース裏面の配線溝に沿わせて通します。
注意
電線をベースで挟み込まないように注意してください。



- ⑤端子番号を確認して、各色付(目印)の既設電線を端子に接続する。
+12V: 既設電線青実線付または黒線付を端子番号1に接続する。
OV: 既設電線青破線付または無色を端子番号2に接続する。
OUT: 既設電線無色を端子に接続する。

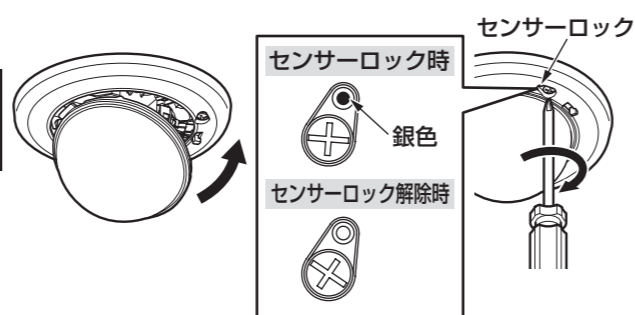


注意
ベースの端子にすでに付いている配線は、そのまま配線した上に既設電線を配線してください。

+12V (電線青実線付または黒線付): 端子番号1

注意
コントローラーの配線とあっているか確認してください。

- ⑥感知エリア(角度)の調整を行う場合
工場出荷時は、インジケータ: K (感知エリア最短) 設定です。現場の小便器連立状況にあわせて、7 感知エリアの調整を参照し、調整してください。



- ⑦センサーのフロントマークとベースのフロントマークをあわせ、センサーのつめを差し込み、ベースに押し込み取り付け。
※リリースレバーが最初の位置に戻ることを確認してください。

- ⑧センサーの取り付け完了後、センサーロックを時計方向に約30°回してロックする。
※センサーロックが完了するとロックインジケータが銀色に変わります。

注意
センサーを取り外すときは、センサーロックを反時計周りに約30°回してから、センサーを手のひらで包み込むようにして、指先でリリースレバーをスライドさせます。

6 試運転

6.1

電源を投入すると感知表示灯(赤色)が点滅を開始し、ウォームアップ状態であることを表示します。そのまま約1分間点滅が終了するのを待ってください。

注意
ウォームアップ中は、感知を受け付けません。

6.2

点滅の終了後、各小便器の前に立ち感知しているかセンサーの感知表示灯(赤色)の点灯を確認後、小便器の洗浄を確認してください。

6.3

感知しにくい、または敏感すぎる場合は、8 モードの設定を参照し感度を調整してください。

注意
人が小便器の前に立たないのに動作する(敏感すぎる) → 感度設定を低感度に下げてください。
人が小便器の前に立っているのに動作しない場合や人と周りの温度差が少ない場合(鈍い) → 感度設定を高感度に上げてください。

6.4

必要に応じて、感知表示灯(赤色)を常時消灯に8 モードの設定を参照し、設定してください。

注意
洗浄間隔は、コントローラーのタイマー設定時間やカウンタの使用数によって、設定されています。洗浄時間を変更する場合は、小便器節水装置用コントローラーで調整してください。

7 感知エリアの調整

センサー裏面の「エリア設定表」を目安に「エリアセレクター」と「インジケータ」で、小便器連立状況に応じた感知エリアを設定してください。(エリアセレクターを上下に回転すると、インジケータにA~Kまでのアルファベットが左右交互に表示されますので、天井高さ・最大距離に応じた位置にあわせてください。「UP」で感知エリアが延び、「DOWN」で感知エリアが手前に短くなります。)

エリア設定表

最大距離	4	6	8	10	12	14	16	18	20
最大高さ	2.0	F	D	C	B	B	A	A	A
最大高さ	2.5	H	E	D	C	B	B	A	A
最大高さ	3.0	J	G	E	D	C	B	B	A
最大高さ	4.0	K	I	G	F	E	D	C	B
最大高さ	5.0	L	K	H	F	E	D	C	B

センサー裏面

インジケータ

例: 天井高さ3m・最大距離8mに設定する場合、エリアセレクターを回転し、インジケータを「E」にあわせてください。

8 モードの設定

感知時に点灯する感知表示灯のON/OFFや感度の設定ができます。

スイッチの切替状態	ON	ON	1a	120	80
スイッチNo.	1表示灯	2メモリー	3警報	4,5感度(%)	

- 1: 表示灯
 - 2: メモリー
 - 3: 警報
 - 4, 5: 感度設定
 - 6, 7, 8: 空スイッチ
- ON: 感知時点灯
OFF: 常時消灯
- 出荷時: 100%
- 右図のスイッチの組み合わせで感度を変更できます。
- 出荷時: OFF
このスイッチは、変更しないでください。

